黄庭上元元神元祖
消元業秘法遠隔会

2025年2月12日は旧暦の正月15日。上元節とも呼ばれるこの日は、1年のうちで最初の満月の夜であり、旧正月を祝う最後の1日でもあります。
梁先生が運命を司ってくれる爽霊神が正確に私たちを金光の大道へと導いてくださるよう加持治療致します。 上元節は、年に一度だけ爽霊神を修養し滋養する絶好の機会です。（詳細は次葉参照願います）

1. 施術日時： 2月12日（水） 午後9時～10時

2. 施術目的： 健康運、金運、平安運アップ、先祖供養

3. 施術費用： 5,000円（税込）（ご家族はお一人税込3,000円）

4. 施術の受け方

①リラックスした状態で、寝ていても座っていても眠っていても大丈夫。
②顔は東の方角に向けてください。
③不調部位がある方はそこに「金色の光のイメージ」を注入してください。
　特段不調部位のない方は腎臓と肝臓に注入してください。
④養生音楽 A（瞑想）をお持ちの方は施術中流してください。
　お持ちでない方は心休まるヒーリング音楽を流してください。

5. 申込方法

①申込メールに、氏名、生年月日、当夜施術を受ける住所を記載願います。
　初めて遠隔施術を受けられる方は、お写真（笑顔の正面上半身）も添付願います。
②開催日時まで時間がありませんので、この返信メールで予約を至急お願いします。
　施術費用は急ぎませんが、現金書留か次の指定口座にお振込下さい。
　きらぼし銀行中野支店　普通5003880　シヤ）ゼンニツポンヨウジヨウキヨウカイ

梁蔭全気功事務所

〒164-0011　東京都中野区中央4－1－3　ボニータ新中野ビル4F
TEL: 03－3229－3136　FAX: 03－6382－7778
メール：ryankikouj@gmail.com　HP: http://www.ryankikou.com

古代の伝統的な祭りである元宵節（正月は別に元月とも称され、元月の最初の宵であることより元宵節と命名された）で、上元節とも呼ばれ、漢代に由来し2000年以上の歴史があります。
元宵節には、人々は飾り付けた灯籠を見たり（ランタンフェスティバル）、灯籠の上に謎かけを書いて楽しんだり、元宵（もち米で作られた月を模したお団子）を食べる伝統的な風習があるだけでなく、上元節に起きる太陽の節気の変化によって生じる「人の運命を良くも悪くもする目に見えない無形のエネルギー」は、人々の一年の健康や運勢にも深い影響を及ぼします。そのため、儒教、仏教、道教では、この日に祝福を祈願し、悪霊を追い払い、業を消し去り、特別な方法で健康な体で良い人生を得ることを願います。
上元節の祭りは先祖が活力を与えるために与えてくれた機会であることを示す故事が東方古代より多くあるといいます。

「一年の計は春にある」ということわざがあります。ここでの「計」は決して単純な計画を意味しませんし、「春」は決して単純な時間の概念を意味しません。
その背後にある本質は何でしょうか？
元宵節（上元節）を創ったことは何を意味するのでしょうか？
なぜ黄庭内景功は、上元節のこの日に上元宮を修めることが、人の健康と気運に大きな利益をもたらすと考えているのでしょうか？
どうすれば、上元節のエネルギーを借りて、自分のために滅業増運を祈ることができるのでしょうか？

梁先生は上元節の夜に「黄庭上元元神元祖消元業秘法」を展開します。
縁のある人が負のエネルギーを浄化し、生命力を高め、2025年の開運を助け、120歳の幸せな人生を築くための基礎を固めるものです。

黄庭内景功創設者梁蔭全先生は世界最大の唯一無二の万仏金光殿において、古よりの修練の術を用いて50年近い修練の功能をもって私たちのために魂と魄に絡みついた業と負のエネルギーを清め、上元宮にいる私たちのために運命を司ってくれる爽霊神が正確に私たちを金光の大道へと導いてくださいますよう加持治療いたします。上元節は年に一度だけ、爽霊神を修養し滋養する絶好の機会です。